

## 2021年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	東武鉄道株式会社
---------	----------

本年度整備費	1,089 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホーム柵（可動式）	0 駅	0 番線	
ホーム柵（固定式）	0 駅	0 番線	
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	4 駅	5 番線	北越谷・池袋・朝霞・川越
バリアフリースイレ	0 駅	0 ヶ所	
運行情報提供設備 （発車案内表示器）	0 駅	0 ヶ所	
その他		5 駅	木崎・東小泉・国谷・ おもちゃのまち・南宇都宮
備考	※触知案内板		

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホーム柵（可動式）設置番線数・段差解消駅数		
ホーム柵（可動式）設置番線数	0	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	- 駅

本年度徴収額	0 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	0	0	0
備考			

本年度までの累計整備費	1,089 百万円
本年度までの累計徴収額	0 百万円

2021年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
<b>(1) 設置・改良費</b>				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホーム柵 (可動式)	0 駅	0 番線	※1	116 百万円
ホーム柵 (固定式)	0 駅	0 番線		0 百万円
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		0 百万円
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線		0 百万円
段差隙間縮小に資する設備	4 駅	5 番線	北越谷(新)・池袋(新)・朝霞(新)・川越(新)	16 百万円
バリアフリースイッチ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
運行情報提供設備 (発車案内表示器)	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
その他 ※2	備考欄参照 駅			13 百万円
備考	※1 東武スカイツリーライン使用車両へのTASC搭載費 等 ※2 触知案内板:5駅 等			
<b>(2) 更新費</b>				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホーム柵 (可動式)	1 駅	2 番線	船橋(新)	6 百万円
エレベーター	41 駅	77 基	浅草(新)・新越谷(新)・春日部(新) 他	128 百万円
エスカレーター	17 駅	42 基	北千住(新)・越谷(新)・朝霞台(新) 他	61 百万円
車両	- 編成	- 両	-	- 百万円
その他 ※3	備考欄参照 駅			292 百万円
備考	※3 運行情報提供設備 (発車案内表示器) :1駅 トイレリニューアル:1カ所 二段手摺化、段鼻の改修:3駅 非常通報装置:77駅 等			
<b>(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)</b>				
維持管理費		457 百万円※4		
収受システム改修費		0 百万円		
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		0 百万円		
備考	※4 ホーム柵 (可動式) ・エレベーター・エスカレーターのメンテナンス 等			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

## 2022年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	東武鉄道株式会社
---------	----------

本年度整備費	2,306 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホーム柵（可動式）	0 駅 0 番線	
ホーム柵（固定式）	0 駅 0 番線	
エレベーター	1 駅 1 基	とうきょうスカイツリー
エスカレーター	1 駅 1 基	とうきょうスカイツリー
内方線付点状ブロック	6 駅 18 番線	館林・足利市・栃木・八木崎・初石・中板橋
段差隙間縮小に資する設備	7 駅 15 番線	獨協大学前・新越谷・越谷・北越谷・池袋・朝霞・川越
バリアフリースレ	1 駅 1 ヶ所	おもちゃのまち
運行情報提供設備 （発車案内表示器）	0 駅 0 ヶ所	
その他	備考欄参照 駅	
備考	誘導ブロック:21駅(久喜・大宮・池袋 他) 音響案内装置:4駅(下板橋・大山・中板橋・下赤塚) 等	

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホーム柵（可動式）設置番線数・段差解消駅数		
ホーム柵（可動式）設置番線数	0	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	- 駅

本年度徴収額	145 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	116	29	-
備考			

本年度までの累計整備費	3,395 百万円
本年度までの累計徴収額	145 百万円

2022年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホーム柵 (可動式)	8 駅	18 番線	西新井(新)・谷塚(新)・草加(新) 他	324 百万円
ホーム柵 (固定式)	1 駅	2 番線	新柏(新)	30 百万円
エレベーター	2 駅	2 基	とうきょうスカイツリー(新)・おもちゃのまち(新)	80 百万円
エスカレーター	1 駅	1 基	とうきょうスカイツリー(新)	57 百万円
内方線付点状ブロック	6 駅	18 番線	館林(新)・足利市(新)・栃木(新) 他	109 百万円
段差隙間縮小に資する設備	7 駅	15 番線	獨協大学前(新)・越谷(新)・北越谷(継) 他	30 百万円
バリアフリースイッチ	1 駅	1 ヶ所	おもちゃのまち(新)	5 百万円
運行情報提供設備 (発車案内表示器)	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
その他 ※1	備考欄参照 駅			198 百万円
備考	※1 誘導ブロック:21駅 触知案内板:36駅 音響案内装置:4駅 等			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホーム柵 (可動式)	2 駅	6 番線	柏(新)・船橋(継)	18 百万円
エレベーター	34 駅	54 基	北越谷(継)・板倉東洋大前(継) 他	82 百万円
エスカレーター	26 駅	78 基	新越谷(新)・川越(新) 他	206 百万円
車両	- 編成	- 両	-	- 百万円
その他 ※2	備考欄参照 駅			347 百万円
備考	※2 運行情報表示器(発車案内表示器):6駅 列車接近放送装置:12駅 トイレリニューアル:14カ所 二段手摺化・段鼻の改修:8駅 等			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費		507 百万円※3		
収受システム改修費		89 百万円		
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		224 百万円		
備考	※3 ホーム柵 (可動式)・エレベーター・エスカレーターのメンテナンス 等			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホーム柵（可動式）設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%
2023年度	8番線	26%	1駅	100%	1駅	100%
2024年度	10番線	60%	0駅	100%	1駅	100%
2025年度	12番線	100%	0駅	100%	1駅	100%
累計	30番線	100%	1駅	100%	1駅	100%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2035年度までの計画）

年度	ホーム柵（可動式）設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	91番線	100%	一駅	-	-	-
2027年度						
2028年度						
2029年度						
2030年度						
2031年度						
2032年度						
2033年度						
2034年度						
2035年度						
累計						

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

## ホーム柵（可動式）整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
-	-	-	- 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。